|  |
| --- |
| **５０７０．原産地内取内容呼出し** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＯＡＢ | 原産地内取内容呼出し |

１．業務概要

入力者が通関業、輸出入者の場合は、以下のどちらかのパターンを入力し、システムに登録されている原産地証明書情報のうち、「原産地内取内容仮登録（ＯＡＣ）」業務に利用しうる情報を呼び出す。

①「Ｎ－Ｃ／Ｏ番号」及び「欄番号＊１」

②「Ｃ／Ｏ番号」、「ｅＣ／Ｏキー」、「国コード＊２」及び「欄番号」

入力者が税関の場合は、以下のどちらかのパターンを入力し、システムに登録されている原産地証明書情報のうち、「原産地内取内容税関確認後訂正確認（ＣＵＣ）」業務に利用しうる情報を呼び出す。

①「Ｎ－Ｃ／Ｏ番号」

②「Ｃ／Ｏ番号」及び「国コード＊３」

（＊１）呼び出し対象の欄番号がある場合に入力する。欄番号を指定する際は４桁の番号を入力する（例：０００１）

（＊２）「Ｃ／Ｏ番号」と「ｅＣ／Ｏキー」の組み合わせを入力した結果、原産地証明書情報が複数件存在する場合に入力する。

（＊３）「Ｃ／Ｏ番号」を入力した結果、原産地証明書情報が複数件存在する場合に入力する。

２．入力者

税関、通関業、輸出入者

３．制限事項

　なし。

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②入力者が通関業であり、かつ「原産地証明書利用者登録（ＯＵＡ）」業務にて既にＣ／Ｏ利用者（通関業者等の利用者コード）が登録されている場合は、Ｃ／Ｏ情報ＤＢに登録されているＣ／Ｏ利用者（通関業者等の利用者コード）と同一であること。＊４

③入力者が輸出入者であり、かつＯＵＡ業務にて既にＣ／Ｏ利用者（輸入者コード等）が登録されている場合は、入力者の輸出入者コードまたは法人番号が、Ｃ／Ｏ情報ＤＢに登録されているＣ／Ｏ利用者（輸入者コード等）の輸出入者コードまたは法人番号と同一であること。＊４

（＊４）入力者が通関業かつ輸出入者であり、ＯＵＡ業務にて既にＣ／Ｏ利用者が登録されている場合は、②もしくは③のいずれかを満たすこと。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）Ｃ／Ｏ情報ＤＢチェック

①入力された「Ｎ－Ｃ／Ｏ番号」、「Ｃ／Ｏ番号」、「ｅＣ／Ｏキー」、「国コード」、「欄番号」がＣ／Ｏ情報ＤＢに存在すること。

②該当する原産地証明書情報が複数に分割されてＮＡＣＣＳに送られてくる場合は、全て受信完了していること。

③該当する原産地証明書情報がキャンセルされていないこと。

④入力者が税関の場合は、該当する原産地証明書情報に、以下のいずれかの確認状態の内取情報が登録されていること。  
Ｔ：税関確認後訂正  
Ｘ：税関確認後取消済み  
Ｚ：税関確認後仮登録済み

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 原産地証明書内取内容登録情報 | 入力者が通関業または輸出入者の場合 | 入力者（通関業または輸出入者） |
| 原産地証明書内取内容税関確認後訂正確認情報 | 以下の条件を全て満たす場合  ①入力者が税関の場合  ②該当する原産地証明書情報に確認状態「Ｔ」「Ｘ」「Ｚ」のいずれかの内取情報が登録されている場合 | 入力者（税関） |

７．特記事項

（１）各欄の内取内容の出力順序は仮登録を行った日時での降順とする。

（２）欄の表示方法は以下とする。

（Ａ）欄番号を指定した場合

「欄番号」に入力された値から数えて２５０欄目までを表示する。

（Ｂ）欄番号を指定しない場合

１欄目から最大２５０欄目までを表示する。